

地震被害から人をいかにして守るか

佐々木 和男 (Sasaki, Kazuo)

株式会社チャレンジ 代表取締役

【要旨】

多くの国ではセンサーを使用して全国的な観測ネットワークを構築していますが、これらの NW を完了するには多くのお金と時間が必要です。したがって、そのような観測ネットワークを実現することは容易ではありません。事前にアラームを発して地震から人々を救うために、センサー内蔵の地震速報装置EQガードを提案します。EQガードは単独でも使えますが、10台程度からNW化して地域地震速報システムを低コストで短期間に構築できます。全国の観測網は必要としません。

また、EQガードは避難訓練にも使用でき、防災能力の向上に有効です。地震から人を救うにはアラームを使用した避難訓練は非常に重要です。アラーム+避難訓練が人を救います。

今回、ルーマニアでの実践事例を紹介します。